

▲県民生部長からお祝を受ける相沢トセさん

# 長寿を喜びあ 道中すこ

**敬老の日**

九月十五日の敬老の日、県内に二十三人いられるという百歳以上の長寿者に対する表敬訪問が行われました。これは恒例になった県の行事で、当日は、県知事の代理の五十嵐民生部長のほかに、渡辺社会福祉事務所長・金子村長・木間村社協相沢さん、お孫さん夫婦に介助されながらも、元気一ぱいの笑顔で、一行を

**百年目の秋**

喜び重なる相沢トセばあちゃん

迎えられました。内閣総理大臣から銀盃とお祝い状、県知事からは、お祝い状に洋布団、家族への記念品など、数々の祝品の手渡されて「ありがたいことに、体中で喜びを現わす相沢さんでした。岩室村に初めて百歳時代をもたられた相沢さん。村民あげて、ますますのご長寿をお祈りいたします。



和納4区  
加藤 トラさん  
明治23年1月25日生



西長島  
近藤 クメさん  
明治22年12月5日生



石瀬  
有坂 タキさん  
明治22年9月25日生



金池  
浅田 五郎さん  
明治23年3月19日生

# 我ら90才

**中原サキさん死去**

和納七区の中原サキさんでしたが九月二十一日も今年九十才を迎えられ、ご冥福を祈ります。

- 暖衣飽食は、心の糧にならない。
- 体の栄養と共に、精神の栄養摂取を忘れぬよう。
- 敬老の真意に深く想を、敬神崇祖、日本の家は縦につながりをもつ。
- 三代家族が日本の家の理想である。
- 自分も必ず年をとる。老後の生きがい対策を今から十分考慮されよ。

### 高令者社会の出現

六十五歳以上の老人が、全国で一千万人の割合を突破したという新局面で、全国では総人口に對し八・五%西浦原部では一万四千九百人で一〇・九%になるといわれ、岩室村は二%で県下屈指の長寿村だといふ。

この日、百歳の相沢トセさんを知事に代って表敬訪問された五十嵐民生部長は、折紙をつづらね、その因縁は？と問うておられたが、これに相應るべく私の所見を述べてみた。

- ① 海・山・平野と恵まれた自然環境にはぐくまれてきたこと。
- ② 信仰心あつく、十四ヶ寺の寺院を守ってきた伝統もあり、精神の浄化、心の健康が保たれてきた。
- ③ 信仰の風土の中から、仕事もおつとめ、報恩感謝の心が培われてきた。

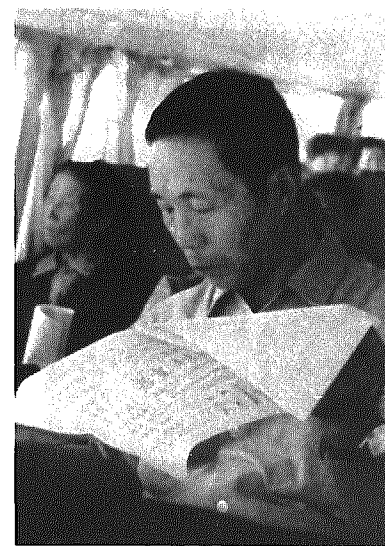
等々、長寿の方々は一様に粗衣粗食を意とせず、働かねばバチが当るといふ職業観に徹している。

### 青壮年の方々へ一言

- 暖衣飽食は、心の糧にならない。
- 体の栄養と共に、精神の栄養摂取を忘れぬよう。
- 敬老の真意に深く想を、敬神崇祖、日本の家は縦につながりをもつ。
- 三代家族が日本の家の理想である。
- 自分も必ず年をとる。老後の生きがい対策を今から十分考慮されよ。

# 笑顔 るく片手にヨカッタテハネ

## 村内施設めぐり



▲道中双六をみながら  
ウーンそうかのー

▼村内を巡って、あがりは静閑荘で  
昼食会 楽しそうな顔 顔顔……。

合併二十周年記念事業のひとつとして計画された、老人招待村内めぐりは、敬老の日を中心に、九月十一日から二十一日までの間、八ブロックに分けて行われましたが、幸い好天候に恵まれて、約六百人の参加を得て無事に終了しました。「岩室村道中双六」と名付けたこの企画は、参加された皆さんには好評で、「ふるさと岩室」の姿を改めて見直していただけたようでありました。

とりわけ、合併後二十年といっても、前半の十年間は、水道や中学校統合、し尿・ゴミの処理、火葬場の整備など、いわば生活環境の土台づくりに力が入れられ、後半の十年間で、道路整備をはじめ、各種の施設の建設がなされ、企業進出や住宅団地造成が進み、目に見えて村

**道も立派になったし  
村もかわったのー。**

大喜び、村内施設めぐり



▲住民福祉課長の説明にソッカ、ソッカ

### 敬老の日

#### 高令者表敬訪問に寄せて

岩室村社会福祉協議会長

本間 八十太郎

一人の例外もなく、ご本人は襟を正しての晴姿で、ご家族や一門の人ならに囲まれて喜々としてお迎え下さった。

お顔のつやつやしき、お声の若々しき、しかも、変転の多い世の中で、花も嵐も踏み越えて生き抜かれておいでの今日、無欲恬淡満面にふくやかな笑みをたたえての薫風、善隣のお顔そのもので、声咳に接し敬虔の気持を禁じ得なかつた。「道心通神」の言葉通り表敬した私共に、深々と頭をさげて合掌さるるお姿、「心の清き者は神を見ん」で、すがすがしい泪と感激を覚えた。そして、心身共に健康で、次の「百寿」の祝いまで長寿を全うしてほしいと念じたのであった。

一人の例外もなく、ご本人は襟を正しての晴姿で、ご家族や一門の人ならに囲まれて喜々としてお迎え下さった。